

# 九州・沖縄在住者を対象とした学生生活アンケート 2014 調査結果レポート

2014年8月

Rainbow Soup (レインボースープ)

## 【調査にあたって】

- 学生時代に九州・沖縄に在住していた当事者が、学校生活の中でどのような体験をしてきたかというデータは今まで存在せず。
- LGBTの若者たちが直面している状況を把握し、今後の取り組みに生かしたいと考えた。

## 【調査概要】

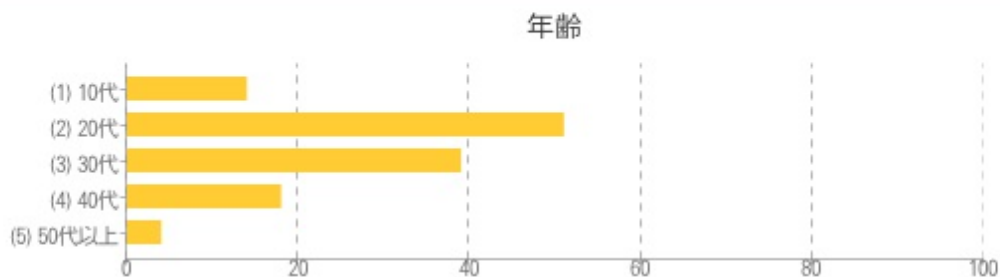
- 実施期間：2014年1月8日～28日(21日間)
- ウェブ上無料アンケートサイト「Cube Query」を利用。二重回答ができないよう設定。
- Rainbow SoupのHP、ツイッターで告知し、福岡、九州各地の団体に協力を呼びかけた。
- 回答者 126名(LGBT当事者)

※今回のアンケートにおいて、回答者のセクシャリティを分類する必要はないと考え、関連する質問項目は設けていません。

## 【回答者の内訳】

### ■ 設問 1 (年齢)

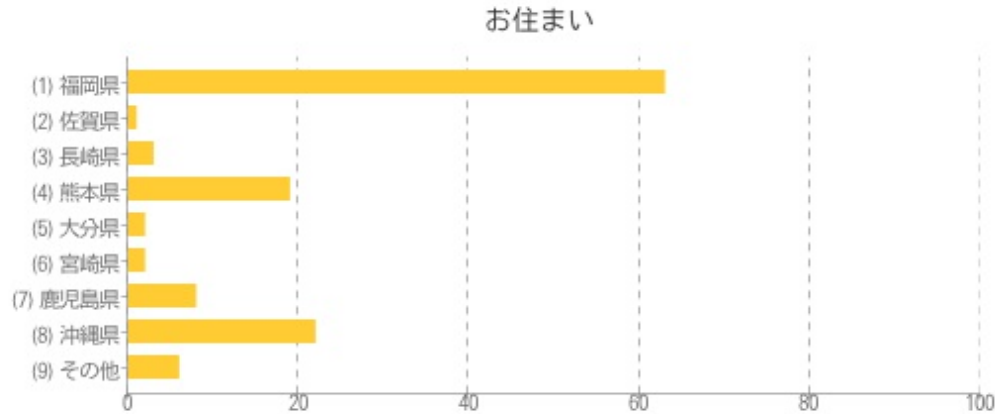
あなたの年齢を教えてください。



10代 14人 / 20代 51人 / 30代 39人 / 40代 18人 / 50代以上 4人

## ■ 設問 2 (お住まい)

現在お住まいの場所を教えてください。



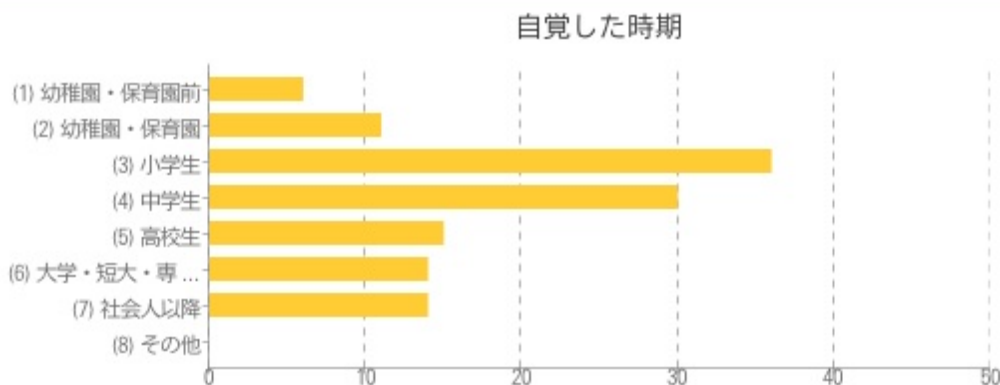
福岡 63 人 / 佐賀 1 人 / 長崎 3 人 / 熊本 19 人 / 大分 2 人 / 宮崎 2 人 / 鹿児島 8 人 / 沖縄 22 人 / その他 6 人

※その他：学生時代は九州・沖縄エリアに在住し、現住所が県外というケース

## 【自分のセクシャリティを自覚した時期】

### ■ 設問 3 (自覚した時期)

自分のセクシャリティを自覚した時期を教えてください。



幼稚園・保育所の前 6 人 / 幼稚園・保育所 11 人 / 小学校 36 人 / 中学校 30 人 / 高校 15 人 / 大学・短大・専門学校 14 人 / 社会人以降 14 人

●全体の 66%が義務教育期間までに自覚している

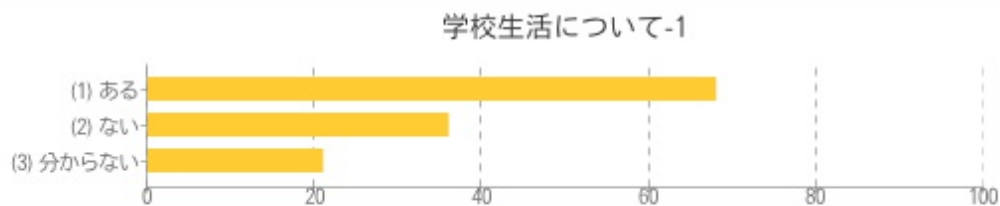
●同性に恋愛感情がわいたり、「同性愛」「性同一性障害」という言葉を知って自覚

- 「もしかして…」と思っても、受け入れるまでに時間がかかっている

## 【学校生活で辛い思いをしたことがあるか】

### ■ 設問 5 (学校生活について-1)

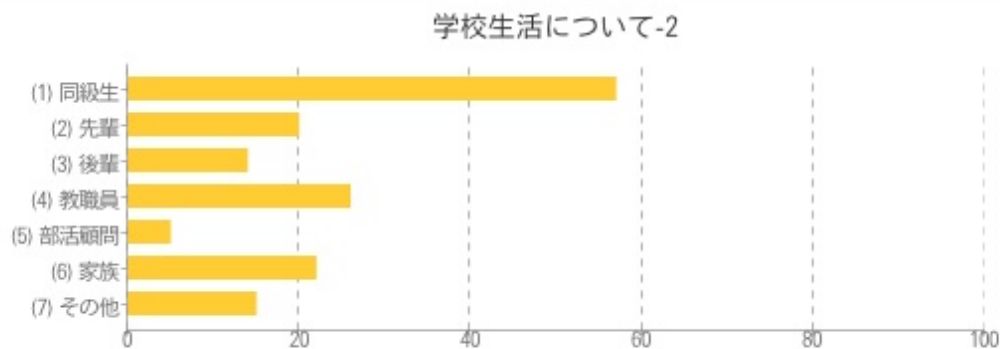
自分のセクシャリティによって学校生活で辛い思いをしたことはありますか？



ある 68 人 / ない 36 人 / 分からない 21 人

### ■ 設問 6 (学校生活について-2)

設問5で「ある」と答えた方にお尋ねします。  
誰から辛い思いをさせられましたか?(複数回答可)



同級生 57 人 / 先輩 20 人 / 後輩 14 人 / 教職員 26 人 / 部活顧問 5 人 / 家族 22 人 / その他 15 人

- 半数以上が辛い体験を味わっており、同級生によるものが多数
- 同級生 「おとこおんな」「男のくせに」「気持ち悪い」「友達やめるよね」
- 教員 「女の子らしく」「気持ち悪い」「おまえと話していると俺もホモだと思われる」

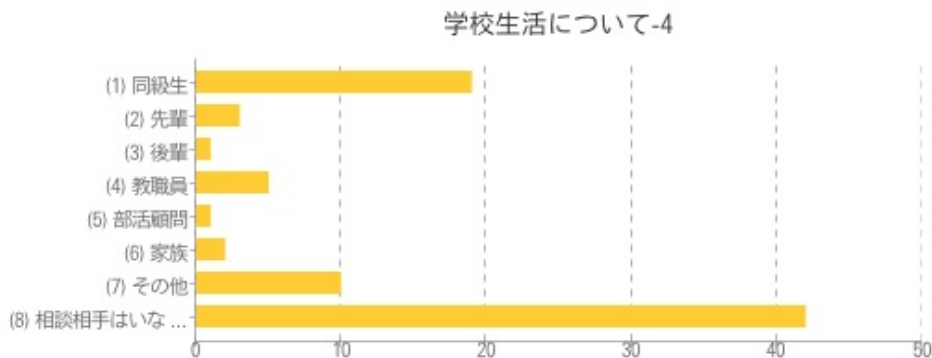
## 【相談相手について】

設問 8) 「ある」と答えた方にお尋ねします。相談する人はいましたか？誰に相談していましたか？（複数回答可）

### ■ 設問 8（学校生活について-4）

設問5で「ある」と答えた方にお尋ねします。

相談する人はいましたか？誰に相談していましたか？(複数回答可)



同級生 19 人／先輩 3 人／後輩 1 人／教職員 5 人／部活顧問 1 人／家族 2 人／その他 10 人  
／相談相手はいなかった 42 人

- 全体の 6 割が「相談相手がいなかった」
- 授業中やさりげない会話などで、マイノリティに対する理解が見えるだけで違う
- 図書室、保健室に関連図書を置く
- 関連団体との接点や交流の機会を設けることが大切

## 【学校生活に望むサポートについて】

設問 9) 学校生活の中で、セクシャルマイノリティの子どもたちにどんなサポートがあると良いと思いますか？（自由記入）

- 制服の選択の自由
- 多目的トイレの設置
- 相談しやすい環境の整備
- 多様な性への理解を深めるための授業
- 教職員研修の実施